

町主催の『図書館・博物館クエスト』が10月30日に図書館・博物館で開かれ、小学生17人が参加しました。

この事業は、読書週間にならみ、季節行事を通して、子どもたちに同館の魅力を、親子を持ってもらうことを目的に毎年開催しています。

イベントでは、仮装した参加者が、館内に隠された10個のクイズを解き、限定の図書館利用者カードを獲得するなど、恒例のハロウィン行事を楽しみました。

## なぞときハロウィン開催



伊藤園（本庄大介代表取締役）主催の『わたしの街の未来の桜プロジェクト 桜の植樹式』が10月28日に桜舞馬公園（静内田原）で行われました。

同社は、製造する飲料品（桜満開パッケージ）の売り上げの一部を47都道府県の桜の保全活動に

## わたしの街の未来の桜プロジェクト

### 桜の植樹式

寄付されています。

この日、大野町長や北海道遺産協議会副会長などが参加し、二十間道路にエゾヤマザクラの成木7本を植樹しました。

伊藤園の嶋田部長は「美しい桜を未来につなげるため、今後も支援を継続していきたい」と話しました。

## イオル再生体験交流事業

町主催の『イオル再生体験交流事業』が11月9日と13日に静内小、山手小、桜丘小、東静内小、高静小学校の4年生（東静内小は3・4年生）162人を対象に行われました。

児童らは、マレク（突きガキ）を使用した伝統的なサケ漁の見学の

ほか、サケの加工体験やアイヌ民俗資料館の見学が行われ、アイヌの文化や歴史について知識を深めました。

参加した児童は「アイヌの生活を知ることができて良かった。サケの加工体験が楽しかった」と話しました。



# NEWS FLASH

## 上下水道出前授業

上下水道課による出前授業が、10月14日に静内小学校で行われ、4年生29人が上下水道の役割について学習しました。

授業では、職員が写真や水道管の模型を使い、学校で1日に使う水の量や静内終末処理場の仕組みなどを説明し、児童から「水道管が壊れたらどうするの？」と質問がありました。

児童らは「上下水道の大切さが分かり、新しいことも学べて興味が湧きました。楽しかったです」と話しました。



## 谷藤静子さん

### 北海道善行賞受賞

障がい者の自立と社会参加に尽力された谷藤静子さん（静内神森）が北海道善行賞（障がい者自立活動者）を受賞し10月15日に伝達が行われました。

谷藤さんは、昭和50年に静内町身体障害者福祉協会に入会して以来、同会女性部の料理

教室や各種行事などに積極的に参加し、また、手話サークルで手話初心者講座の指導者として活躍されています。

谷藤さんは「表彰をいただいたことは素直にうれしいです」と手話で気持ちを話しました。



## 営林友の会 桜の木植樹

営林友の会（村田修会長）は、10月15日に桜舞馬公園（静内田原）で同会の設立30周年を記念し、関係者など約30人が参加する中、エゾヤマザクラの成木3本の植樹を行いました。

同会は、国有林の緑資源の充実を図ることを目的に平成3年に発

足。企業会員22社、個人会員44人が所属し、日高南部森林管理署や地域と連携した植樹活動などを行っています。

村田会長は「今後も、会と住民との親睦を深め、この桜並木をこれからの世代に引き継いでいきたい」と話しました。

